

札幌市交通局は経営理念を「かけがえのない市民の財産である地下鉄と路面電車を最大限活用し、公共交通ネットワークの中核として、お客さまのゆたかな暮らしとまちの発展を支える」と定めています。この経営理念の実現に向け、「安全の確保」、「快適なお客さまサービスの提供」、「まちづくりへの貢献」、「経営力の強化」の4つの経営方針に基づき、平成26年度から30年度までの5年間における具体的な事業計画をまとめた「札幌市交通事業経営計画」を平成26年度に策定したところです。

この度、経営計画にも記載しているとおり、経営計画で掲げている主な事業についての進捗状況(平成29年度の実績と平成30年度の予定事項)を公表することとなりました。この概要をご覧いただき、それぞれの事業に対しご理解を深めていただければと考えております。今後も市営交通事業をよりよい方向に進め、健全な経営の継続に努めてまいります。

1 安全の確保

地震対策の推進(地下鉄)

継続

[計画本文]

耐震診断の結果、耐震性能の不足が判明した駅舎・車両工場等の施設について、緊急度に応じて順次耐震改修工事を実施します。

平成29年度実績

- ・西車両基地耐震診断
- ・南北線シェルター耐震改修工事実施設計(平岸駅~澄川駅間)
- ・澄川駅耐震改修工事(継続)

平成30年度実施予定

- ・南北線出入口上屋耐震診断
- ・澄川駅耐震改修工事しゅん工
- ・真駒内駅及び南北線シェルターの耐震改修工事着手



〈 耐震改修工事後の自衛隊前駅 〉

安全運行確保のための訓練の実施(共通)

継続

[計画本文]

事故や災害が発生した場合に、お客さまを速やかに安全な場所まで退避させるとともに列車の安全な運行を確保するため、地下鉄駅構内や列車内での火災、内水氾濫等による駅構内への浸水等を想定した訓練を実施します。また、新たに運転シミュレーターを導入し、訓練の効果を高めます。(地下鉄)

接触限界見極め訓練など、事故を未然に防ぎ、定時運行を維持するための訓練について、内容の充実を図りながら、引き続き実施していきます。(路面電車)



〈 市民参加型 列車火災訓練(地下鉄) 〉

火災対策の推進(地下鉄)

平成30年度完了予定

[計画本文]

地下鉄火災からお客さまを守るため、国の火災対策基準に従い、駅に防火シャッター又は防火戸を設置します。

平成29年度実績

- ・[東西線] 発寒南駅、二十四軒駅、南郷7丁目駅
- ・[東豊線] 新道東駅、元町駅、月寒中央駅

平成30年度実施予定

- ・[東西線] 南郷13丁目駅、ひばりが丘駅
- ・[東豊線] 北13条東駅、美園駅、豊平公園駅



〈 防火戸 〉



〈 防火シャッター 〉

平成29年度実績

【地下鉄】

- ・地下鉄駅構内火災訓練、浸水対策訓練、列車火災訓練、列車併結・推進運転訓練等を実施
- ・運転シミュレーターを活用した訓練

【路面電車】

- ・脱線復旧訓練、滑走対応訓練、単線運転時の対応訓練、接触限界見極め訓練を実施

平成30年度実施予定

- ・各種訓練の継続
- ・新型車両習熟訓練(路面電車)
- ・軌道信号及び転てつ器実地訓練(路面電車)



〈 脱線復旧訓練(路面電車) 〉

## 2 快適なお客さまサービスの提供

### トイレの改修（地下鉄）

平成 29 年度完了

#### 【計画本文】

経年劣化による汚れなどがみられ、快適に利用しにくくなったトイレを優先的に改修し、きれいで使いやすいトイレに整備していきます。

#### 平成 29 年度実績

- ・東豊線大通駅、北 13 条東駅

#### 平成 30 年度実施予定

- ・なし（完了のため）



〈 改修後のトイレ 〉

#### ★主な整備内容

- ・乳児用いす及び乳児用ベッドを男女各 1 基設置
- ・小児用小便器をスペースに応じて設置

### 改札機の IC 対応（地下鉄）

平成 29 年度完了

#### 【計画本文】

SAPICA などの IC カードの利便性を高めるため、改札機の老朽化に伴う更新に合わせて、全ての改札機で IC カードを使えるようにします。

#### 平成 29 年度実績

- ・IC 非対応機 36 台を IC 対応機 16 台及び IC 専用機 20 台へ更新(IC 対応率 100%)

#### 平成 30 年度実施予定

- ・なし（完了のため）



〈 IC 対応改札機 〉

## 3 まちづくりへの貢献

### 地域との連携（共通）

継続

#### 【計画本文】

地域でのイベントや沿線事業者、観光業者等と引き続き連携し、駅の個性化などの取組を通して、沿線のにぎわい創出に寄与するとともに、こうした取組を、より効果的に情報発信できる手法の検討を進めます。

特に地下鉄始発駅では、近隣の魅力資源と一体となった演出など、駅の魅力を高める取組を推進します。

#### 平成 29 年度実績

- ・スポーツ局と連携し、豊平公園駅と「きたえる」の連絡通路に、レバンガ北海道とエスポラーダ北海道のチームロゴや選手等の写真を掲載
- ・南区役所及び札幌国際芸術祭と連携し、真駒内駅のホーム柵に装飾を実施
- ・南郷 13 丁目駅に掲出している地元小学生による「ペットボトルキャップアート」の装飾を更新
- ・福住駅の北海道日本ハムファイターズ及び北海道コンサドーレ札幌の装飾を更新
- ・上記事業を交通局ホームページにて情報提供

#### 平成 30 年度実施予定

- ・実施事業の装飾について、関係団体と連携して更新
- ・実施事業の情報を適宜交通局ホームページで発信



〈 豊平公園駅連絡通路 〉



〈 真駒内駅ホーム柵装飾 〉

### 停留場のバリアフリー対応の推進（共通）

継続

#### 【計画本文】

路線のループ化や道路の拡幅事業との連携により、停留場の幅を十分に確保するとともに、停留場と車両との段差を小さくし、車両への乗降をしやすくするため、停留場のかさ上げなどを行います。

#### 平成 29 年度実績

- ・ロープウェイ入口停留場(外回り)のバリアフリー化
- ・ロープウェイ入口(内回り)、山鼻 19 条、石山通の各停留場改修(かさ上げ、スロープ設置、上屋等設備更新)

#### 平成 30 年度実施予定

- ・西 15 丁目停留場のバリアフリー化
- ・西 8 丁目、中央区役所前、西線 9 条旭山公園通(外回り)、西線 11 条、西線 14 条、西線 16 条、電車事業所前、行啓通、中島公園通、山鼻 9 条(内回り)の各停留場改修(かさ上げ、スロープ設置、上屋等補強、設備更新)



〈 バリアフリー対応前の停留場 〉



〈 バリアフリー対応後の停留場 〉

「お客さまの声」の事業運営への活用（共通）

継続

【計画本文】

お客さま満足の向上を図るために、お寄せ頂いた「お客さまの声」を調査・分析し、事業運営に積極的に活かしていきます。また、お客さまへの影響が特に大きい事柄について、より多くのお客さまにご理解を頂き、認識の共有を図るため、より一層効果的な情報発信を行っていきます。



〈 注意を促すポスター 〉

平成 29 年度実績

- ・全ての「お客さまの声」を関係課間で共有し、個々の声に対する対応の必要性や可能性について、検討するなど、お客さまサービスの改善等に向けた取組を進めたほか、交通局ホームページに「お客さまの声によるサービス向上の取組」を掲載

（取組例）

- ・「地下鉄終端駅到着時に、座席確保等の目的で下車せず、そのまま折り返し乗車（無賃乗車）している乗客がいる。」との声に対し、終端駅のひとつ前の駅に注意を促すポスターを掲載した。

平成 30 年度実施予定

- ・「お客さまの声」に対する対応の必要性や可能性について、引き続き必要に応じて局全体で検討するなど、お客さまサービスの改善等に向けて取組を進めます。

地下鉄駅施設の有効活用による附帯収入確保（地下鉄）

継続

【計画本文】

地下鉄駅施設の活用可能スペースについて、従来の民間事業者を主とした募集に加え、広く市民が集う交流拠点等への利用の募集も実施することで、有効活用の充実を図り、附帯収入の確保に努めます。



〈 スペース活用前 〉

平成 29 年度実績

- ・札幌市の他部局に対し、活用可能な 14 駅 17 か所のスペースについて情報提供
- ・駅構内出店事業者の公募を 2 回(5 駅 6 区画)実施し、1 区画の出店を決定
- ・事業者提案により、自動販売機(4 駅)や ATM(23 駅)を設置

平成 30 年度実施予定

- ・店舗が撤退したスペース等について、駅構内出店事業者の公募を実施
- ・引き続き、利用可能スペースを他部局へ情報提供



〈 スペース活用後 〉

## 5 施設・設備の改良に関する進捗状況

…平成29年度までに完了もしくは目標を達成した事業

<平成29年度実績及び平成30年度実施見込>

取組		H25年度末 (計画前)	H30年度末 (目標)	H29年度末 実績	H30年度末 見込	備考 (目標の進捗率)	グラフ (上段:H29末 (下段:H30末)
安全の確保	車両とホームの隙間対策 (ホーム) 【地】	5か所	122か所	122か所	122か所	H28完了	
	車両とホームの隙間対策 (車両) 【地】	0編成	20編成	20編成	20編成	H27完了	
	新型車両の導入の推進 (地下鉄・東豊線) 【地】	-	20編成	20編成	20編成	H28完了	
	地震対策の推進 (高架駅の耐震補強工事) 【地】	-	4駅	2駅	3駅		
	火災対策の推進 (防火シャッター・防火戸の設置) 【地】	13駅	39駅	34駅	39駅		H30完了予定
	エレベーターの更新 【地】	3基	46基	36基	41基		
	エスカレーターの更新 【地】	-	39基	27基	33基		
快適なお客様サービスの提供	改札機のIC対応 【地】	IC化率 72%	IC化率 100%	IC化率 100%	IC化率 100%	H29完了	
	路面電車情報活用システムの導入 【路】	-	24 停留場	24 停留場	24 停留場	H27完了	
	トイレの改修 【地】	残8駅	残0駅	残0駅	残0駅	H29完了	
	トイレの設備改良 【地】	0駅	49駅	0駅	49駅		H30完了予定
	制振軌道化 【路】	制振化率 62%	制振化率 73%	制振化率 67%	制振化率 68%		
まちづくりへの貢献	照明設備のLED化(駅照明設備) 【地】	1駅	17駅	13駅	13駅		
	照明設備のLED化(出入口標識) 【地】	52か所	72か所	72か所	72か所	H27完了	
	照明設備のLED化(ホーム駅名標識) 【地】	20駅	49駅	24駅	24駅	残り25駅は、H28に非電照化を実施	
	照明設備のLED化(電照広告枠) 【地】	9駅	18駅	32駅	32駅	H26完了 (H29進捗率256%)	
	太陽光パネルの設置 【地】	-	1か所	1か所	1か所	H26完了	
	再生電力貯蔵装置の増設 【地】	2か所	4か所	3か所	3か所		
	より利用しやすい環境整備 (階段スリップ防止ゴム) 【地】	残23駅	残0駅	残0駅	残0駅	H27完了	
	より利用しやすい環境整備 (床と柱の識別化) 【地】	残11駅	残0駅	残0駅	残0駅	H26完了	
	より利用しやすい環境整備 (既存手摺改修) 【地】	残12駅	残0駅	残0駅	残0駅	H27完了	
	停留場のバリアフリー対応の推進 【路】	-	11面	17面	37面	H28完了	
新型低床車両の導入の推進 【路】	3編成	10編成	3編成	4編成			
の 経 強 営 化 力	新規広告枠媒体の導入 (大通駅デジタルサイネージ設置) 【地】	-	1区画	1区画	1区画	H27完了	

※【地】は地下鉄、【路】は路面電車